

平成三十年九月十五日 教主担当信者心の道勉強会

神 示

「教え」に真理を読み取る人は<sup>人間</sup>

「生きがい」多い人生を歩んでゆける

人物が持つ運命の力を引き出し 出会いを生かす心が取れる

同時に 我が運命の力を 相手<sup>人物</sup>が輝くように奉仕する行動を取る

導<sup>どう</sup>神<sup>しん</sup>心<sup>こころ</sup> 心<sup>しん</sup>導<sup>どう</sup>心<sup>こころ</sup>相<sup>あ</sup>ま<sup>ま</sup>つ<sup>つ</sup>て 人間は運命が導く人生を歩める

この人<sup>人間</sup>の姿を 社会は徳<sup>とく</sup>人<sup>じん</sup>と言う

なれど 得<sup>え</sup>徳<sup>とく</sup>の真理が悟れず 行動に表す人<sup>人間</sup>がまことに少ない<sup>今日</sup>

社会が調和できず 不安に迷う因が ここにある

信者に申す

「教え」に心触れられる今<sup>時代</sup>

自ら真理を学び 「教え」に生きる決意が大切

「教え」が「心」を安定させ

人 物との出会いを生かせる人<sup>存在</sup>へと導く

家族 縁者が我が存在を頼り 求めてもらえる人<sup>人物</sup>を目指す

「教え」に生きるほど

人間は 人 物との出会いが深まり

愛と信頼と期待で結ばれてゆく

生きがい味わう人の姿と申す